

編集・発行

日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島2-9

TEL (058) 272-3561

<https://www.jrc.or.jp/chapter/gifu/>

赤十字の活動は、皆様からの活動資金によって支えられています。



ふみ出そう 未来をつくる 献血に

第57回献血運動推進全国大会「標語」募集 最優秀賞
鹿児島県出水市立糸ノ津中学校
山下 健太郎



7月は「愛の血液助け合い運動」月間

いつでも患者さんに血液をお届けできるよう、定期的な献血のご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、中止となる献血会場が相次いでいます。このような状況におきましても、毎日約3,000人の患者さんが輸血用血液を必要としています。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※赤十字血液センターでは、職員・会場の感染防止策を徹底し、来場者の皆さんにも感染防止へのご協力をお願いしています。



岐阜県内の献血ルームの詳細、
献血バスの運行スケジュール等
はこちらからご覧いただけます。

岐阜 献血

検索

CONTENTS

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ■ 赤十字支部施設の活動の紹介 ····· 2 | ■ 赤十字講習会のご案内 ········ 3 |
| ■ 岐阜県支部評議員会を開催 ····· 3 | ■ 熱中症の予防に心がけましょう ····· 4 |
| ■ 義援金・救援金の受付状況 ····· 4 | ■ 新型コロナウイルス感染症への対応 ··· 5 |
| ■ 避難指示で必ず避難 ········ 6 | |

+ 赤十字奉仕団委員長会議を開催

4月26日、岐阜市のOKBふれあい会館にて、令和3年度地域赤十字奉仕団委員長会議を開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため文書審議となりましたが、今年度は大きな会議室を使用して一定の間隔を空けたほか、万全の感染対策を講じることにより、集合形式で開催し、奉仕団活動方針を共有しました。

また、岐阜県感染症対策専門家会議の委員を務める、ぎふ総合健診センター所長の村上啓雄先生（岐阜大学名誉教授）から「新型コロナウイルス感染症の正しい感染防止策」と題した講演をいただき、今後の活動に活かすための貴重なお話を聞くことができました。



+ 「防災減災プロジェクト」高山市防災研究所×高山赤十字病院

赤十字防災減災プロジェクトの一環として高山赤十字病院を会場に、3月に赤十字の災害救護活動を、4月に「高山市民防災研究会」協力による地域の災害写真と防災の取り組みを紹介しました。その中で「近年、全国的に大きな災害が多発していますが、飛騨地域でも災害が起きています。この地域の災害を知って、防災に役立てほしい」とのメッセージを発信しました。

期間中は来院された多くの方が資料を興味深くご覧になり、災害から身を守るための「セルフチェックリスト」を手に取っていただきました。

高山赤十字病院では、災害に備え、毎年訓練を実施しています。災害はいつ起きるかわかりません。皆さんも食料の備蓄や家具の置き方など身近なところから備えておきましょう。



+ 「職員研修」岐阜赤十字病院

4月1・2日の2日間、感染予防対策を講じて、新規採用職員（医師、看護師、事務職員）28名を対象とした研修会を実施しました。

参加者は、病院長や感染管理認定看護師等から赤十字病院としての理念・行動指針や医療関連の感染の説明・手指衛生及び個人防護服の着脱など多岐にわたる内容を学びました。

さらに看護師は、5月6日までの約1か月間、新人看護職員研修を行い、電子カルテの基本操作をはじめ、吸引・採血・注射・輸液準備といった技術研修や、情報収集に基づいた看護計画の立案等を座学・実践を交えながら学んだほか、先輩看護師の実際の動きを見学するシャドウ研修により、それぞれの部署への配属に備えた心の準備をしました。

今後も、安全・安心な医療を提供し、地域に信頼され貢献できる病院であるよう頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



● 赤十字講習会のご案内 [令和3年7月~11月版]

講習の種類	開催日	会場
救急法基礎講習	9月18日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
健康生活支援講習支援員養成講習 開催保留	10月3日(日)・10日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
【短期】災害時高齢者生活支援講習	8月5日(木)	高山赤十字病院 3階小講堂
【短期】こころとこころの架け橋講習	10月7日(木)	高山赤十字病院 3階小講堂
【短期】リラクゼーション&癒しのハンドケア 開催保留	8月2日(月)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂
	9月2日(木)	高山赤十字病院 3階小講堂
	11月5日(金)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
【短期】地域で支える認知症	10月5日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂
	11月11日(木)	高山赤十字病院 3階小講堂
幼児安全法支援員養成講習 開催保留	9月5日(日)・12日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
【短期】すぐすぐ子育てサポート講習	7月3日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
	7月15日(木)	高山赤十字病院 3階大講堂
	10月23日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
	11月13日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
子育て支援ボランティア養成講座	7月2日(金)	高山赤十字病院 3階大講堂
	9月17日(金)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
防災ボランティア養成研修	8月29日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
こころのケア研修	9月29日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
	10月20日(水)	高山赤十字病院 3階大講堂

※開催保留と記載の講習は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実技の取り扱いが決定していないため、現時点では開催を保留しています。今後、開催予定日までに開催可否を決定しますのでご注意ください。

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字岐阜県支部ホームページをご覧いただけます。また、ご不明な点がございましたら、日本赤十字社岐阜県支部 事業推進課までお問い合わせください。

+ 指導員の派遣を実施しています！

岐阜県内各地で開催される救急法などの講習会について、岐阜県支部では感染予防対策を講じ、指導員の派遣を実施しています。

従来、実技を中心とした講習を行っていましたが、現在は指導員による講義及びデモンストレーションを中心に、人々の命と健康を守るために知識と技術をお伝えしています。

コロナ禍においてもその重要性に変わりはありません。指導員とともに学んでみませんか？詳しくは日本赤十字社岐阜県支部 講習担当者までお問い合わせください。



【主催者の皆様へのお願い】

安全に講習会を行うため、以下の感染防止対策をお願いしています。

- ・十分な広さの会場選定
- ・会場の換気
- ・受講者の体調、体温の確認
- ・手指消毒、マスク着用 等

+ 岐阜県支部評議員会を開催

令和3年度日本赤十字社岐阜県支部第1回評議員会を文書審議にて実施し、県内赤十字4施設の令和2年度事業・決算並びに役員の選出について承認をいただきました。

令和2年度日本赤十字社岐阜県支部決算報告

【歳入】

・社資収入	390,854千円
・その他収入	50,328千円
・前年度繰越金	39,827千円
合計	481,009千円

※歳入歳出差引額60,077千円は令和3年度に繰り越しました。

【歳出】

・国際活動	2,307千円
・災害救護や災害への備え	146,824千円
・救急法等講習普及	10,149千円
・奉仕団や青少年赤十字の活動	30,361千円
・赤十字思想の普及等	33,167千円
・市町村の赤十字活動	48,849千円
・赤十字病院や血液センターの施設整備	19,252千円
・救護看護師の育成	9,012千円
・広域の赤十字活動	56,490千円
・赤十字活動の運営管理	64,521千円
合計	420,932千円

いのちを守る行動を！

熱中症の予防に心がけましょう！

熱中症とは、以下の要因により、体温の調節機能が破綻したことで引き起こされる障害です。

環境要因：気温や湿度が高い、風が弱い、日差しが強い、エアコンを使用しない、締め切った室内など
からだの要因：二日酔い、寝不足など体調不良、高齢者や乳幼児、肥満者、持病のある方など

行動要因：長時間の屋外作業や激しい運動など

死に至る危険な病態ですが、予防の方法を知つていれば防ぐことができます。特に、マスク着用は、高温多湿下では熱中症のリスクが高くなりますので、こまめに水分補給するなど予防に心がけましょう。

熱中症の予防

- のどが渴いていなくてもこまめに水分補給する。
- エアコンを上手く活用し、暑さを和らげる。
- 部屋の温度を測る。
- 体感に頼らず28℃になつたらエアコンを入れる。
- 部屋の風通しをよくする。
- 部屋にこもりっきりにならず、1日1回は外に出る。
- 涼しい服装で過ごす。
- 外出は暑い日や時間帯を避ける。
- 日頃の健康チェック（平熱を知つておく）
- 日頃から暑さに備えた体作り

熱中症の症状と重症度分類		
分類	症状	対応
I度	めまい 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間に不十分になつたことを示します。 筋肉痛・筋肉の硬直 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分(ナトリウム)の欠乏により生じます。 大量の発汗	<応急手当と見守り> I度の症状が様々に改善している場合のみ、現場の応急手当と見守り →安静、経口的に水分とナトリウムの補給
II度	頭痛・気分の不快・吐き気・おう吐・倦怠感・虚脱感 体がぐったりする、力が入らないなどです。	<医療機関へ> II度の症状が出現したり I度の症状に改善が見られない場合、すぐ病院へ搬送する
III度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体にガクガクとひきつけがある、直ぐ走れないなど。 高体温 体に触ると熱いという感触です。	<高度な治療ができる医療機関へ> 集中治療が必要 →体温管理

*  の部分は、経口補水液の利用できる範囲である。

(出典：三宅康史：Geriatric Medicine.2008;46(6):599-603 より一部改編)

赤十字救急法・健康生活支援講習テキストより抜粋

● 義援金・救援金の受付状況【令和3年5月31日現在】

義援金・救援金名	受付期間	受付金額（円）
東日本大震災義援金	平成23年3月14日～令和3年3月31日（終了）	2,096,022,708
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年4月15日～令和3年3月31日（終了）	205,491,226
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	平成29年7月7日～令和3年3月31日（終了）	16,787,011
平成30年7月豪雨災害義援金（広域）	平成30年7月10日～令和4年6月30日	22,480,753
令和元年台風第19号災害義援金	令和元年10月16日～令和3年3月31日（終了）	54,414,960
令和2年7月豪雨災害義援金（広域）	令和2年7月7日～令和4年3月31日	4,589,736
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	令和3年2月14日～令和3年5月31日（終了）	757,751
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	令和3年4月12日～令和3年5月31日（終了）	210,686
中東人道危機救援金	平成27年4月1日～令和4年3月31日	187,937
バングラデシュ南部避難民救援金	平成29年9月22日～令和4年3月31日	200,150

※義援金・救援金については、受付開始から令和3年5月31日入金分までの合計となっています。

県内赤十字施設における新型コロナウイルス感染症への対応

国内で感染が確認されて以降、日本赤十字社全社をあげて対応しておりますが、県内の赤十字施設においても、次のような取り組みを行っています。

高山赤十字病院

〒506-8550 高山市天満町3-11 電話：0577-32-1111(代表)

飛騨地域の医療機関や保健所、行政など関係機関と連携して協力医療機関としての役割を果たすとともに、令和2年11月からは発熱外来を開設、PCR検査装置2台を新たに整備し、新型コロナウイルス感染症疑い患者の鑑別診断を実施しています。また、感染対策備品の配備や職員の具体的な行動指針の明示など、院内感染防止対策を強化し、地域の皆様が安心して受診できる体制の整備・充実を図っています。

最近では、岐阜県が運営する「無症状または軽症患者用宿泊療養施設」への看護師派遣や高山市の新型コロナウイルスワクチン集団接種へ医師派遣を行うなど幅広い活動を行っています。

岐阜赤十字病院

〒502-8511 岐阜市岩倉町3-36 電話：058-231-2266(代表)

一般病棟1病棟を新型コロナ専用病床とするなど合計36床を確保し、県内で感染が確認された当初から感染者の入院治療にあたり、令和2年10月からは発熱外来を開設し、新型コロナウイルス感染症疑い患者の鑑別診断を積極的に実施しています。また、PCR検査装置、CT撮影装置を各1台増設するなど診療体制の充実を図るとともに、岐阜県が運営する「無症状または軽症患者用宿泊療養施設」への看護師派遣や医師によるオンコール対応も行っています。加えて、今年度は新型コロナウイルスワクチンの接種にも協力しております。

岐阜県赤十字血液センター

〒500-8269 岐阜市西部中島2-10 電話：058-272-6911(代表)

外出自粛や団体・企業からの協力自粛、献血協力イベントの中止など献血者が減少し、輸血用血液不足が懸念される状況が続いている。これに対して、感染症対策を徹底したうえで、団体・企業の協力再開に努めたほか、予約システムを活用することにより献血者の利便性の向上、「密」の防止に努めながら献血をお願いし、現状においては、医療機関が必要とする輸血用血液を安定的に供給することができます。

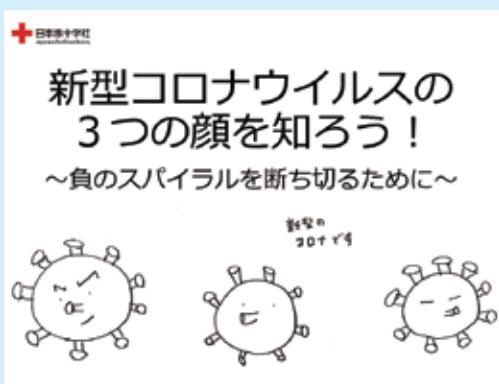
日本赤十字社岐阜県支部

感染症まん延下でも災害救護活動が安全かつ適切に行えるよう体制を整備したほか、新型コロナウイルスを正しく知り、感染の予防や差別をなくすために作成した教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」「ウイルスの次にくるもの」「感染症流行期にこころの健康を保つために」を県内全ての小・中・高等学校・特別支援学校へ配布するなど啓発活動に取り組みました。



教材を使った授業

—— 日本赤十字社が作成した教材 ——



上記教材をはじめ、日本赤十字社の活動の詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.jrc.or.jp/lp/kansensho/>



令和3年5月20から
災害対策基本法 改正！

大雨の季節到来

警戒レベル

4

ひなんしじ 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル

5



災害発生
又は切迫

新たな避難情報等

さんさゅうあんぜんかくほ
緊急安全確保※1

~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~

4



災害の  
おそれ高い

ひなんしじ  
**避難指示**※2

3



災害の  
おそれあり

こうれいしゃとうひなん  
**高齢者等避難**※3

2



気象状況悪化

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

1



今後気象状況  
悪化のおそれ

早期注意情報  
(気象庁)

これまでの避難情報等

災害発生情報  
(発生を確認したときに発令)

・避難指示(緊急)  
・避難勧告

避難準備・  
高齢者等避難開始

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

早期注意情報  
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

**避難勧告は廃止されます。**  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難**  
しましょう。

**避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難**  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

もしものために、普段からどう行動するか決めておきましょう！